



# 公園の自然、発見！ —身近な生き物たち—

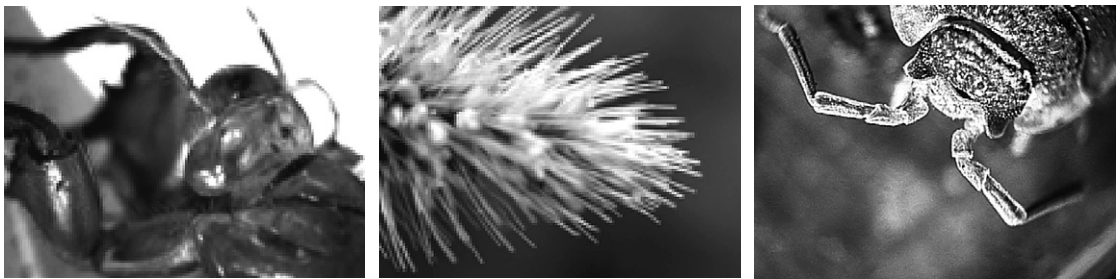
東京都葛飾区立一之台中学校 河野 晃

## ●どんな観察なの？

生き物にはいろいろな種類がありますね。でも、動物園にいる動物や、植物園の植物だけが生き物ではありません。身近にも、たくさんの生き物がすんでいます。公園などに出かけて、探してみよう。

## ●観察のしかたとコツ

【これなーんだ】下の写真、それぞれ何だか、わかりますか？



### 【探しかた】

#### ・土の中の生き物

まずは手と目を使って探しましょう。ダンゴムシやミミズ以外にも、たくさんの生き物が住んでいて、落ち葉や排泄物、死骸などを分解し、自然界の循環の手伝いをしています。

#### ・鳥（カラス、ハト、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、シジュウカラ、カルガモなど）

飛んでいる鳥、鳴いている鳥がいたら、まず見てみましょう。大きさはスズメくらいでしょうか？それともハトやカラスくらい？これら3種の鳥の大きさを物差しにして見てみましょう。くちばしや足、羽の色は？黄色や黒、赤などが多いです。鳴き声の特徴は？鳴き声を聞いたら、自分でも口まねをして覚えてみましょう。

#### ・木や草などの植物（タンポポ、ハルジオン、クスノキ、サクラなど）

草ですか？それとも木？元から日本にあった植物か、それとも園芸植物かによって、調べる図鑑も違ってきます。花が咲いているときなら、その色や形などで調べていきます。葉しかないときは、その形や、茎に対してどのような付きかたをしているか、などを手がかりに調べていきましょう。

※写真の答え：左からセミの抜け殻、エノコログサ（通称：猫じゃらし）、ダンゴムシの頭

## ●気をつけよう

・野外には、毒を持った生物がいたり、危険な場所もあります。小さなお子さんは、必ず大人の方と一緒に出かけないようにしましょう。

・何かにさわった後は、必ず手を洗いましょう。

## ●もっとくわしく知るために

・日本自然保護協会編：「自然観察ハンドブック フィールドガイドシリーズ(1)」平凡社（1994）このほか、各地の自然保護協会などが行う自然観察会などに参加すると、地域の会の情報などを教えてもらえます。